

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援ルームピースプラント

公表日 2026年 3月 1日

利用児童数 62

回収数 56

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	53	3			天井が低い。	安全に配慮してスペースを確保する。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	56				毎回しっかりと向き合ってくれる。 保護者の意見を取り入れてくれる。	研修や職員間の情報の共有を通してより 良い療育を行う。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	55	1			絵カードなど視覚支援などの設備も完備 している。移動手段は階段とエレベーター があり、必要な方には介助をしてい る。	個別療育の為、利用児童に合わせた関わり を行ってきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	56				療育室も広く、子どもが伸び伸び活動が できている。	今後も清潔で安全に支援を行っていき るよう取り組んでいきたい。
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	56				個々に合わせたプログラムで 実施してくれている。	今後も療育の専門性を高めていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	56				そう感じる。	常に保護者とニーズのすり合わせはして いきたい。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	56				支援計画やモニタリングなど半年に1度 以上説明を受けている。	保護者の方と情報共有を行い、支援計画 とモニタリングを作成している。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	56				適切だと感じる。	今後もここに合わせたプログラムを提供 していく。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	56				支援計画の内容が日々の療育に 組み込まれていると感じる。	常に計画書とすり合わせをしながら行っ ている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	55	1			活動内容が子どもに沿った 内容になっている。	個々に合わせた活動を考案し、マンネリ 化しないようにする。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。					サービスなし。	交流は行っていないが、検討してい きたい。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	56				その都度に説明を受けている。	支援計画やモニタリング等保護者の方に 理解してもらえるようにお伝えしてい る。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	56				計画書を元に説明を受けている。	今後も定期的に説明をしていく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	56				保護者勉強会や保護者同伴のデイキャ ンプ等に参加したことがある。	今後も様々な形のイベントを開催してい く。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	56				毎回活動後に情報共有を行っている。	保護者や職員間の情報の共有を徹底して 行い、保護者とのズレが無いようにす る。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	56				療育前後で職員と情報共有をしている。	必要に応じて機会を設けられるように していく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	56				支援計画など保護者のニーズが反映され	保護者のニーズと支援内容のすり合わせ を行い、反映している。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	56				定期的な母の会や兄弟児参加型の イベントを実施している。	勉強会の機会を増やせるよう検討してい きたい。
19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	56				店舗のリーダーが主に対応されている。	ご意見、ご相談についてはただちに保護 者の方に説明を行い、適切な対応を行っ ている。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	56			療育前後で保護者と職員で報交換を出来る機会がある。	日々の療育のフィードバック等で保護者の方と情報共有をしている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	56			ホームページや事業所内掲示により掲載されている。	保護者の方に分かりやすいようにしている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	56			ご意見無し。	今後も個人情報の扱いには十分注意していきたい。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	56			避難経路が保護者から見える位置に配置してある。	今後も定期的に説明を行って行く。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	56			避難訓練に参加したことがありますが、迅速な対応でした。	今後も職員を意識を引き上げていきたい。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	56			メインのスタッフとフォローのスタッフがいてくれている。	今後も危険性のないように努めていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	56			療育での毛があった場合いつも帰宅後に連絡をいただく。療育は保護者も同席なので怪我の瞬間は保護者も見ている事が多い。	怪我や事故があった際には迅速な対応を心掛けている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	56			いつも楽しく通所している。	今後も子ども達が楽しく通う事ができるように努めていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	50	5		日により浮き沈みが激しい為一概に言えない。	今後も子ども達が楽しくように提供していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	55	1		予約が取れない事が多く不満。	日々のフィードバック等で保護者の方に不安や支援方針のズレが無いように努めていく。

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援ルームピースプラント3くみ

公表日 2026年3月1日

利用児童数 63人

回収数 58枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	58				十分に広い空間がある。	1時間に児童の定員は2名と設定しているため、十分なスペースは確保できている。ただ、年齢が高くなるにつれて、スペースを必要としている児童もいるので、療育内容を工夫していきたい。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	58				適切だと思う。	個別対応での療育を実施しており、場面に応じてはフォローの職員と連携する等、工夫しているため、今後も連携しながら進めていきたい。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	58				分かりやすい空間が環境設定されている。	集中が途切れないように、不要な掲示は減らしている。必要に応じては視覚支援を用いる等、子どもに合わせて環境設定している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	55	1	2		綺麗に清掃されていると感じる。冬場のトイレが寒い。	毎日業務終わりには掃除を徹底しており、月に一度は大掃除をするなど、清潔に保っている。便座カバーなど可能な限り寒さ対策を行う。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	58				兄弟で利用しているが、それぞれの事を理解し、支援してくれている。	子どもへの理解を日々深め、療育後に共有やフィードバックをするなどし、日々情報共有しながら支援する事が出来ている。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	58				合っている。	ピースプラントが公表している支援内容を、一人ひとりのレベルや目標に合わせて設定している。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	57	1			子どもの苦手な部分どこか全体を把握できていない。	保護者と子どものニーズは、日々療育後のフィードバックで確認しているが、伝わり切っていない部分もある。保護者一人一人に向けた伝え方や提示方法を考えたい。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	58				子どもの支援だけでなく、保護者の話も聞いてくれたり、地域とも連携してくれているので有難い。	療育時には保護者も同席し、療育後のフィードバックや、療育外での様子を取り日々の支援に落とし込む事は確実に実施している。また、必要な保護者には、面談を実施する等、本人以外の家族支援も実施している。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	58				様々な職員が入っても、支援計画通りに支援してくれている。	情報共有を徹底し、子どもに必要な力を支援に落とし込んでいきたい。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	58				同じ活動にならないように工夫されているように思う。	担当制にしていなかったため、様々な職員が、活動内容を展開しながら支援に関わっている。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。			58		ない。	現状、当事業所以外の場で、地域の児童と交流する機会は設けられていない為、今後検討していきたい。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	58				説明があった。	契約時には運営規定や支援プログラムを細かく説明しており、利用者負担額については初回の発生時や、無償化から利用者負担額発生時のタイミングで丁寧に説明を行っている。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	58				毎回丁寧に説明がある。	児童発達支援計画を用いて、必ず半年に1回は説明を行い、保護者の同意を得ている。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	58				ペアレント・トレーニングは無いが、勉強会や研修には参加している。	ペアレント・トレーニングは実施していないが、月に1度、保護者向けの研修を実施し、子どもや発達障がいへの理解を深めている。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができてきていると思いますか。	58				日々の療育時に、子どもの話が出来ている。	保護者同席の中、療育支援を行い、療育支援後にはフィードバックもしている為、日々、話し合いを重ねて子どもの共通理解を図っている。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	58			日々の療育時に、話が出てくる。必要時には、個別面談を実施してくれる。	必要な保護者には個別面談の時間を設け、子どもが同席しない時間に子どもの相談が出来るよう、時間を確保している。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	58			子どもや保護者の気持ちに寄り添いながら支援してくれているように感じる。	子どもと保護者の気持ちによりそいながら、日々支援する事を心掛けていると思う。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		57	1		保護者向けの勉強会や研修はあるが、きょうだいへの支援としては現状、無いように感じる。	保護者向けの勉強会や研修は実施しているが、きょうだいへの支援は今後検討していきたい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	58				日々の療育中や療育後に話す時間がある。必要に応じて、面談を設けてくれる。	必要に応じて、面談を提案したり、相談があった際にはいつでも対応できるように努めている。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	58				情報共有は毎回行われているように思う。	朝礼や、終礼を用いて、子どもや保護者の情報を確実に共有している。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	58				SNSの定期発信や、新聞作成、掲示がされている。	SNSには全エリアの様子を定期的に発信しており、イベント時や年末には、アンケートを用いた新聞を作成し、店舗内に掲示している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	58				丁寧に取り扱われていると思う。	施設出来る書庫で子どもの情報は管理しており、退勤時には確実に施錠して、情報管理は徹底している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	58				定期的に避難訓練が実施されている。	マニュアルを作成し、共有している。また、半年に1回避難訓練を実施したり、避難経路の確認も行っている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	58				実施されている。	半年に一度、避難訓練を実施しており、今年度は大阪市消防局に依頼し、SRCを受講をした。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	58				新しいものに定期的に交換していると思う。	定期的に遊具点検や遊具交換を実施し、子どもの安全を確保している。物品が破損している場合には修理・交換を行う。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	58				怪我をした際や、本人が痛みを訴えている時には、状況が保護者に伝達される。また、場面によっては処置も速やかに行ってくれる。	今後も怪我の大小に関係なく、事故や怪我が起きてしまった場合には、速やかに対応していきたい。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	58				様々な事を受け入れてくれることに安心し、来所している。	子どもの状況や場面にに応じて必要な力を見極め、まずは、安心して通える場所、環境である事を心がけたい。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	58				とても楽しみにしている。	まずは楽しむ事を大前提とし、その中で向き合う場面や、頑張り課題にも取り組んでいきたい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	58				いつも工夫して支援してくれている。	現在の支援に満足せず、常により良い支援が出来る様取り組んでいきたい。